

女性「九条の会」10周年のつどい

講演 『女性が創る地球の未来』

講師 浜 矩子さん

「アベノミクスは浦島太郎の経済学だ」「アベノミクスは『アホノミクス』」歯に衣を着せない浜さんの言葉は、先の見えない不安や閉塞感に押しつぶされそうな私たちに、不思議な勇気を与えてくれます。私たちは負けてなんかられません。女性が創る日本と世界の未来に向けて、勇気を持って歩き続けましょう。



浜矩子さんプロフィール

はまのりこさん：東京生まれ、三菱総合研究所、同社でイギリス駐在員事務所初代所長。帰国後調査部長・主席研究員を歴任。2002年より同志社大学大学院ビジネス研究科教授に就任、2011年には同研究科長に就任。

著書に、『円ドル同時終焉の脅威 日米無理心中物語』（2014年ビジネス社）
『1ドル50円時代を生き抜く日本経済』2013年（朝日新聞出版）、
『誰が「地球経済」を殺すのか 真相を読み解く七つ道具』2011年（実業之日本社）、
『地球経済のまわり方』2014年（筑摩書房）など多数

と き 2015年6月27日（土）
13：30～16：00（開場 13：00）

ところ 銀座ブロッサム（中央会館） 裏面に地図あり

★ 司会 金子あいさん

★ コーラス 「エーデルワイス 『君死に給うことなかれ』 ほか

★ 前売り券 1000円 当日券 1200円 学生 500円（中学生以下は無料）

障がいのある方、およびお付き添いの方 500円（事前にお申込みください）

裏面に申込み先がありますのでお読みください

主催：女性「九条の会」 〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-5 安田ビル1階 新協印刷(株)気付

10周年を迎えた女性「九条の会」

第一次安倍内閣が、九条の改憲と戦後民主主義の否定を打ち出した10年前、九条の会が勢いよく産声をあげ、全国に「みんなの力で憲法九条を守ろう」と呼びかけました。女性「九条の会」も、その呼びかけに応じて誕生し、今年、創立10周年を迎えます。

奇しくも今年、日本女性が「参政権」を得てから70年目を迎える記念すべき年でもあります。男性の普通選挙権は1924年に公布されましたが、女性が参政権を得るまでには、長い間の闘いがありました。活発な運動が繰り広げられ、「婦人公民権」を求める多くの署名も集まりました。しかし満州事変は15年戦争の幕開けとなり、婦人公民権案の国会提案をも不可能にしました。

戦争の時代を経て、敗戦を迎えると同時に女性たちは活動を開始し、占領軍が選挙権付与による婦人解放を発表する一日前に、幣原内閣に初閣議で婦人参政権付与を決定させたのでした。私たちの一票は女性の手でつかんだ男女平等の選挙権、被選挙権なのです。

一昨年、再び安倍内閣が登場し、九条改憲の地ならしとして、秘密保護法や集団的自衛権の行使を民意を無視して強引に押し通しました。また彼は、その爪を隠すかのように「アベノミクス」や、いわゆる「女性躍進政策」とやらで国民に甘い夢を抱かせて人気取りを企んでいます。その策略に多くの国民が乗せられ、安倍政権を支持する人も少なくありません。さてその隠れ蓑の正体はどうなっているのか、日本の安全、世界の平和はこれからどうなるのか。私たちは決して騙されることなく、これからも真実に向かって歩き続けて行きたいと思えます。

チケットは 電話・FAX・メールなどでお申し込みください

TEL : 03-6240-0940 FAX : 03-6240-0941

Eメールアドレス : josei-9jonokai@aioros.ocn.ne.jp



女性「九条の会」呼びかけ人 (アイウエオ順)

池田 香代子 (翻訳家) 内海 愛子 (恵泉女学園大学名誉教授) 江尻 美穂子 (国連 NGO 国内婦人委員会委員長)
大原 穰子 (方言指導) 小山内 美江子 (脚本家) 北沢 洋子 (国際問題評論家) 坂本 福子 (故人・弁護士)
瀬戸内 寂聴 (作家) 鶴見 和子 (故人・上智大学名誉教授) 中島 通子 (故人・弁護士) 羽田 澄子 (記録映画作家)
本尾 良 (市民運動家) 湯川 れい子 (音楽評論家・作詞家) 吉武 輝子 (故人・評論家) 渡辺 えり (制作・演出・女優)